

スタッフの声



がっちゃん

学校の居場所に関心がありました。元々繋がりのあった職員さんのご紹介で、この活動に参加しました。音楽、ゲーム、漫画・アニメ、スポーツ、ファッション、本、絵。他の人との出来事。あと、勉強。他にも、生徒さんやスタッフさんが色々なことをしていました。その中で、生徒さんの体験を見たり聞いたりした時に、感動したり、もっと知りたいと思ったりすることが多くありました。みんなが自由に過ごす場で、私も一緒に癒されていたように思います。同じく居場所に関心のあるスタッフさんと、自分たちのことについて話し合えて、仲良くなれたことが、私にとっては貴重な体験になりました。私はスクールカウンセラーを目指しているので、将来自分と生徒さんがどう開きたいのか、考えるための経験になりました。

Review!
1



けいちゃん

子どもに関わる活動、その中でも特に居場所づくりに興味があり、元々携わっていた教育関係のボランティアで紹介していただいたことをきっかけに参加しました。多様な生徒がいるので一人ひとりとどう関わろうか試行錯誤することが毎回勉強になりますし、継続して関わる生徒の変化を見守ったり、生徒側から話しかけてくれるようになったりすることに嬉しさを感じます。また、生徒と一緒に楽しみ、工夫しながら関わるスタッフの皆さんと共に活動できることにもたくさんの学びとエネルギーをもらっています。

Review!
2



クイン

普段、日本の教育に直接関わる機会は、アメリカ人の私にはあまりありませんが、この活動を通じて学ばせてもらっています。実際に活動してみると、生徒たちに何かを教えるというよりも、むしろ私のほうが学ばせてもらっていると感じます。ゲームの遊び方を教わってポコポコにされることも多く(笑)、新しい考え方や価値観に触れる機会も多々あります。食べ物や趣味の話はもちろん、将来の悩みについて語り合うこともあり、毎回さまざまな話ができるのが楽しいです。生徒たちと過ごす時間は、私にとって本当に貴重なものです。

Review!
3



公益財団法人 京都市ユースサービス協会

〒604-8147 京都市中京区東洞院通六角下る御射山町 262 中央青少年活動センター内
075-213-3681 office@ys-kyoto.org https://kyoto-ys.org



「ほっと一息つく。」



京都奏和高校 × 京都市 ユースサービス 協会

「奏和タイム」の選択肢を増やしたい、
地域団体による2つの場づくりを紹介します。



「いっしょにやってみよう。」

Quintetto 体験と交流



「体験と交流の場づくり」をコンセプトに月に1~3回程度、奏和タイムを彩ります。Quintet (クインテット) とは五重奏という意味です。学校名にある“奏でる”という言葉にヒントに、4つある各部の生徒と、わたしたちユースサービス協会の5者が出会い、その場で生まれる何か(to-)を楽しみたい!という思いを込めています。いつもの大階段下にボードゲームカフェが登場したり、初めての〇〇を体験したり…。

作品づくりやものづくりを体験

コラボ企画では、京都市立芸大生が参画! 単語から連想される写真を撮影する企画や、輪ゴムで縛った布を染める企画を実施しました。年代の近い大学生が、自身の経験も織り交ぜながら、自由に表現していることや正解がないことを等身大に伝えることで、無邪気に創作を楽しむ生徒たちの姿が見られました。



自分だけの作品ができました!



浴衣の着付けにチャレンジ

季節を感じられる浴衣の着付け体験も! 「きものどれっしんぐ京都」さんを講師に招き、たくさんある浴衣や帯の中から自分好みのものを選ぶときにはワクワクしたり、浴衣姿を見せ合うときには少し照れたり、生徒の様々な表情が見られ、夏という季節を皆で楽しめる空間になりました。



奏和祭出展!

年1回のイベント『奏和祭』にもクイズゲームやキッチンカー等の企画で、出展させていただきました。ゲームでは、生徒とスタッフがタグを組み、クリアを目指しました。キッチンカーでは、スタッフとして卒業生も登場! 一生懸命作る姿に「がんばれー!」と在校生が声をかける場面も。普段の活動では味わえない特別な時間を一緒に過ごすことができました。



なりたい自分をイメージできたかな?

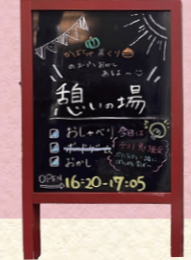


なりたい自分を探してみる♪

メイクセラピストのあやびさんを講師に招き、一人ひとりの“どんな自分になりたいか?”を掘り下げながら、メイクセラピーを実施。「ファンデの塗り方の正解が分からない」「分かるー!」といった参加者同士のやり取りも、生徒からは「なりたい姿を実現できるようになったと思う」といった感想をもらいました。



憩いの場 校内居場所カフェ



毎週1回、呉竹館1階に「校内居場所カフェ」がオープン。ソファやクッションも配置され、くつろげる空間です。2024年度から改装オープンしたロビーも人気です。スタッフとともに他愛のないおしゃべりをしたり、ゲームをして遊んだり、時には進路の不安をつぶやいてみたり…。学校の中のカフェ空間としてほっと一息の奏和タイムをつくっています。



ふだんの憩いの場室内。生徒はリラックスしたりおしゃべりを楽しんだりしています。



ロビーのソファは思わず寝ころびたくなるような大きさ!



ボードに限らず、羊毛フェルトや編み物をする生徒も。手を動かしながらだと、よりリラックスできて、おしゃべりしやすいときもありますよね。



夏休み明けにスタッフが企画をした「手づくり縁日」では疑似スイカ割りをしてみました! スイカ割りよりチャンバラが楽しくなっているのでは?! なんて場面も。長期休み明けは、生活リズムを戻すために疲れちゃうこともあります。が、モヤモヤ発散のきっかけになったかな?



季節ごとにイベントも取り入れ、楽しんでいます。ほかほか日差しが気持ちのよい初夏のとある日にシャボン玉をやってみました。「幼稚園のとき以来かも〜!」「何も考えなくてよくてよき。。。」なんて声が聴かれました。



ボードゲームは安定のコミュニケーションツールの1つです。初対面でも楽しめるし、おなじみのメンバーがボードゲーム目当てに入室することも。リピーターの生徒内ではUNOブームが起きています。仲間内でローカルルールを作ったりしている模様。

そのほかの取り組み

「憩いの場」や「Quintetto」を軸に、その他の取り組みもご紹介!

新入生へのオリエンテーション



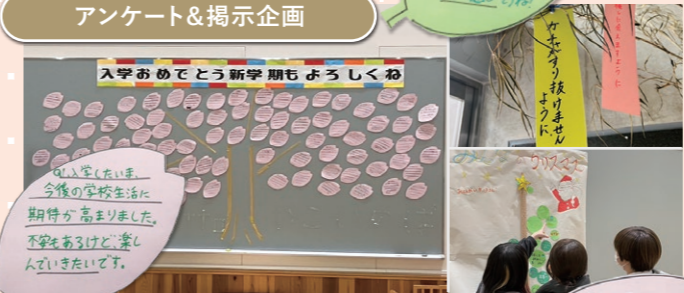
新入生を対象にしたオリエンテーションを行わせていただきました。ユースサービス協会のことを知ってもらえたり、「憩いの場」「Quintetto」に行ってみようと思える機会になったかな?

コンピューター部とコラボ!



生徒からのオファーで奏和高校のコンピューター部とコラボした回では、eスポーツ大会を一緒に観戦&応援しました。すごく盛り上がっていましたね!

アンケート&掲示企画



七夕やクリスマスなど、さまざまなアンケートや掲示企画も実施。「他の人はなんて書いているかな?」「自分は何を書こうかな?」と、考えてみるきっかけに。

青少年活動センターの紹介



校内の掲示板を使い、京都市内に7つある青少年活動センターのプログラムを紹介させていただきました。「センターの活動に行ってきたよ!」と報告してくれる生徒も☆

